

【高等学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている C:やや不十分である
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名 佐賀県立鳥栖工業高等学校 全日制課程

1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)
・就職・進学に向けた対策として、実際の職場環境や仕事の流れを体験できる機会を多く提供した。その結果、卒業生全員が進路を決定することができ、希望する進路を実現するための支援が十分に果たしたと考える。
今後とも限内企業との連携を強化し、より多くの生徒が安心して地元でのキャリアを築けるよう支援していきたい。
・本校への志願者数は昨年度より増加したものの、依然として志願倍率は1倍を下回っている。地域との連携を強化し、地元企業や自治体との協力のもとで特色ある教育プログラムを実施することも、志願者増加につながると思われる。今後引き続き、学校全体で魅力の発信に努めていきたい。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標
広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる工業技術人の育成をします。

3 スクール・ポリシー
アドミッション・ポリシー: 1.将来への目的意識(夢)が明確な生徒を求めます。 2.基本的な生活習慣(挨拶、礼儀、服装等)が身に付いている生徒を求めます。 3.工業分野への強い興味・関心を持っている生徒を求めます。 4.向上心があり、物事に対し常に前向きに取り組める生徒を求めます。 5.部活動等、中学校3年間で一生懸命に打ち込み、高校でも頑張る意欲がある生徒を求めます。
カリキュラム・ポリシー: 1.学ぶ楽しさ、わかる、できる、学んだことを活用できた喜びを実感できるように授業や実習の在り方の工夫・改善を図り、基礎学力の向上・定着に取り組みます。 2.最先端の工業技術を学べるように各工学科の教育課程の改善・充実を図り、各工学科横断的な取組を積極的に取り組めます。 3.ICT機器を活用し、よりわかりやすい授業、学習効果が期待できる授業、自主性が見られる授業を展開し、質の高い教育に取り組めます。 4.将来を視野に入れた目的・目標を持たせ、主体的に進路を選択・決定し、希望進路の実現、高校卒業後の人生設計につながるようなキャリア教育に取り組めます。 5.個別最適な学び・協働的な学びの具現化、産官学の連携、高大接続に取り組めます。
グラデュエーション・ポリシー: 1.基本的な生活習慣の確立を図り、健全な人格を育成します。 2.ものづくりを通して、工業技術を習得させるとともに、創造力、問題解決能力、読解力などを育成します。 3.資格取得、技能検定、各種コンテストに参加することで、学習への興味・関心を高めさせ、将来にわたって、自己啓発ができる生徒を育成します。 4.工業技術・スポーツ分野において、生徒の可能性・潜在能力を十分に引き出し、全国大会等で上位入賞ができる生徒を育成します。 5.基本的な人権を尊重し、自らの活動に責任を持ち、人生を切り拓いていくために必要な人間力を育成します。

4 本年度の重点目標
1.基本的な生活習慣の確立
2.基礎学力の向上
3.資格取得・コンテストへの参加奨励
4.部活動・学校行事の活性化
5.朝読書の定着
6.ICT活用教育の推進
7.志を高める教育の推進

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目
評価項目: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
重点取組: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
成果指標(数値目標): ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
具体的取組: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
中間評価: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
最終評価: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
学校関係者評価: ●学力の向上, ●心の教育, ●健康・休づくり, ●業務改善・教職員の働き方改革の推進, ●特別支援教育の充実
主な担当者: 教務主任, 教科主任, 学年主任, 人権・同和教育担当者, 図書主任, 保健主事, 生徒指導主任, 管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
重点取組: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
成果指標(数値目標): ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
具体的取組: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
中間評価: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
最終評価: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
学校関係者評価: ★唯一無二の誇り高き学校づくり, ○工業技術の習得
主な担当者: 教務主任, 教科主任, 学年主任, 管理職

6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)
・就職・進学に向けた対策として、企業講演や職場訪問、インターンシップを充実させ、実際の職場環境や仕事の流れを体験できる機会を多く提供した。その結果、卒業生ほぼ全員が進路を決定することができ、希望する進路を実現するための支援が十分に果たしたと考える。特に、就職希望者の64.4%が佐賀県内に定住し、地元での就職を希望する保護者の期待に応えることができた。今後とも限内企業との連携を強化し、より多くの生徒が安心して地元でのキャリアを築けるよう支援していきたい。
・今後本校の魅力や強みをより積極的に発信する必要がある。例えば、在校生・卒業生の活躍を広く周知することで、中学生や保護者に本校の教育内容や学習環境の良さをより深く理解してもらうことが重要である。また、地域との連携を強化し、地元企業や自治体との協力のもとで特色ある教育プログラムを実施することも、志願者増加につながると思われる。今後引き続き、学校全体で魅力の発信に努めていきたい。
・令和8年度第2回目の体験入学を実施する。
・学校改革委員会において令和8年度は公式SNSの開設を決定した。また、「鳥栖工高だより」の地域配布も決定した。